

第1学年 国語科学習指導案

日 時 令和7年12月19日（金）第5校時

13:30~14:15

対 象 第1学年1組 32名

第1学年2組 31名

学校名 墨田区立第一寺島小学校

授業者 園田 槟恵 光松 真央

会 場 2階 1年1組 1年2組教室

令和7年度 研究主題 学びを深める児童の育成 ～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～

1 単元名 「きゅんきゅんポシェットを作つて、いちばん心に残つたところをおうちの人に紹介しよう」

教材名 『ずっと、ずっと、大すきだよ』（光村図書 1年 下）

並行読書材

『タンゲくん』『ラチとらいおん』『どろんこハリー』『ターちゃんとペリカン』

『はじめましてねこのジンジャー』『ろくべえまってろよ』『ベンジーのいぬごや』

『きみにあえてよかつた』『スープの白い馬』『なまえのないねこ』

2 単元の目標

- ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2) ア
- ・物語を読んで、いちばん心に残つたところを紹介するために、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) オ
- ・物語を読んで、いちばん心に残つたところを紹介するために、進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿つて、感想を伝え合おうとしている。

「学びに向かう力、人間性等」

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2) ア)	物語を読んでいちばん心に残つたところを紹介するために、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつている。 ((1) オ)	物語を読んで、いちばん心に残つたところを紹介するために、進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿つて、感想を伝え合おうとしている。

4 児童の実態

- ・『やくそく』の学習では、物語から場面の様子や登場人物の行動、会話を読み取り、誰が、どうして、どうなったか等の物語全体の内容を友達に伝えることができた。しかし、叙述を基に登場人物の行動を具体的に想像したり、目的をもって交流相手を選んだりするのには、課題が残った。
- ・『くじらぐも』の学習では、並行読書マトリックス表（誰が何を読んだかわかる表）を使って、自ら交流する相手を選び、マイ吹き出しを活用して登場人物の会話を具体的に想像することができた。しかし、交流したことを声に出して振り返って、文章にまとめることに課題が残った。

5 教材について

本教材『ずうっと、ずっと、大ききだよ』は、家族のように生活している「エルフ」と少年との交流が描かれている物語である。「ぼく」の一人称視点で物語が語られており、物語の中で語られることは、全て「ぼく」の目で見たり、考えたりしたことである。「ぼく」が「エルフ」と一緒に大きくなって遊んだ楽しい様子はもちろん、年老いていき死んでしまい悲しむ様子からも、「ぼく」が「エルフ」のことを大好きな様子が読み取れる。

物語を読み進めていく中で、児童は、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、「自分だったら、『ぼく』と同じように、毎日一緒に寝るな。」等と感想をもつ活動をしていく。叙述を基に「いちばん心に残ったところ」を言葉にしたり、「自分もよく似たことを体験した」と理由と共に伝えたりしていくことで、作品の魅力を十分に味わうことができる。

並行読書材では、人物と動物との触れ合いが描かれているような作品を用意した。児童が、「いちばん心に残ったところ」を言葉にしたり、登場人物と自分を重ね合わせて、実際の体験を文章の内容と結び付けたりすることができると思う。

6 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

低学年	中学年	高学年
言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする子	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする子

(2) 研究主題に迫るための手立て

①言語活動の工夫

ア 言語活動

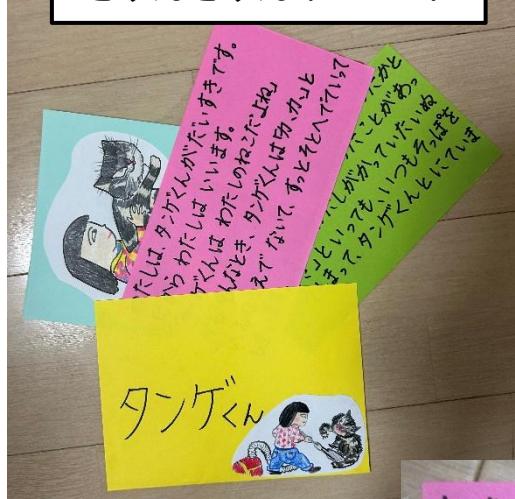
いちばん心に残ったところを自分の体験と結び付けて交流し、「きゅんきゅんポシェット」でおうちの人紹介する。

イ 言語活動の特徴

本単元では、教科書教材『ずっと、ずっと、大きだよ』と並行読書材の人と動物との触れ合いを描いている物語を読み進める。その上で、文章の内容を児童自身が既にもっている知識や実際の体験と結び付けて、感想を伝えていく。そのために、いちばん心に残った叙述を見付け、「自分が登場人物だったら」と文章の内容と自分の体験とを結び付けて、想像したことを声に出して交流していく。そして、交流したことを「きゅんきゅんポシェット」にまとめるという活動を設定した。単元の最後には、実際におうちの人に向けて紹介するという場を設けることで、児童の学習意欲をたかめようとした。

ウ 言語活動モデル

きゅんきゅんポシェット



いちばん心に残った場面の絵

(きゅんきゅんした場面の絵)



いちばん心に残ったところ (きゅんきゅんした言葉や文)

わたしは、タンケくんが大好きです。
だからわたしは いいます。
「タンケくんは わたしのねこだよね」
でも そんなとき、タンケくんは「か、か」と
へんなこえで ないで、すっとそとへでていって
しまいます。

いちばんこころにのこったところ (きゅんきゅんしたところ)

どうしていちばんこころにのこったかと
いうと、わたしも犬をかうたことがあっ
たからです。わたしがかうていたい
も「大好き」といっても、いつもうつほを
むいてしまって、タンケくんといてい
した。 いちばんこころにのこつたりゆう

心に残った理由

物語を読んで、いちばん心に残つ
たところを紹介するために、文章の
内容と自分の体験とを結び付けて、
感想をもつこができる。

C(1)オ

②交流活動の工夫

ア 相手と目的を意識した交流活動の設定

交流活動は、教師が機械的に決めた相手と交流するのではなく、自分で相手を選び何度も交流を繰り返していくように設定した。何度も交流していくことではつきりさせ、はじめはあいまいだった考えが明確になっていくことをねらった。また、「『自分』がぼくだったら、エルフに毎日、大好きだよと伝えるな。」「自分も『ぼく』と同じで、家で飼っている犬と毎日一緒に寝ているんだ。」などと、自分の体験と結び付けて感想を伝えるという交流をすることで、本單元でねらう考えの形成を確実に達成できるようにする。

イ 交流の進め方をつかむためのモデル動画の作成

モデル動画を作成し、具体的に交流の仕方を示していく。

- ・目的をもって相手を見付け、空いている席に座る。
 - ・真ん中に本を置いていちばん心に残ったところを指差して一緒に読む。
 - ・体験と結び付けて「自分だったら」と感想を伝える。
 - ・聞き手も「自分だったら」という視点で、考えたことを話す。

交流の留意点を、モデル動画で説明する。交流の進め方を知ることで、育てたい資質・能力が着実に身に付いていくようにした。

人	言葉
★	☆ 今日は、自分がおすすめしたいお話の中の、いちばん心に残ったところとそのわけを友達と交流しよう。 マトリックス表を見ると…あ〇〇先生が同じ「タンゲくん」を選んでる。 ねえ〇〇先生、交流しようよ。
★	☆ いいよ。
★	☆ ここに席で交流しよう。私からお話してもいい?
★	☆ いいよ。〇〇先生のいちばん心に残ったところを教えて。
★	☆ 私がいちばん心に残ったところは…【付箋をもとにページを開き】…ここなんだ。 いつしょに読もう。せーの。
二人	わたしは、タンゲくんが だいすきです。 だから わたしは いいます。 「タンゲくんは、わたしの ねこだよ」 でも そんなとき、タンゲくんは「カ、カ、ーと なこえで ないで、 すつとそとへ でて いつ います。
★	☆ ここが、いちばん心に残ったんだね。どうして、ここが、いちばん 心に残ったの?
★	☆ 私も犬を飼っていたことがあったんだ。 私が飼つていた犬も「大好き」と言つても、いつもそっぽを向 いてしまつて、タンゲくんといたんだ。 だから、ここがいちばん心に残ったんだ。
二人	☆ 私も犬を飼つていて、その犬のことが大好きなんだ。教えてく れありがとう。
★	☆ △△先生の、いちばん心に残ったところも教えて。 △△先生の、いちばん心に残ったところも教えて。
二人	☆ 私はね…【付箋をもとにページを開き】

ウ 主体的に話し合いに参加するために

教科書教材では、児童が主体的に話し合いに参加できるようにするために、全文シートのいちばん心に残ったところに付箋を貼って交流することとした。また、並行読書材の際は、並行読書マトリックス表を活用し交流する相手を選ぶこととした。教師が指示した相手ではなく、自分が交流したい相手を選び、何度も交流することで、目的をもって交流できるようにした。

教科書教材、並行読書材、どちらの交流も「自分だったら」という視点をはっきりさせることで、自らの体験と結び付けて交流していくようにした。視点をはっきりさせて交流することで、文章との関連を考えながら、実際の体験を十分に想起できるようになり、感想をもつことができると考えた。

7 単元の指導計画と評価計画 (7 時間扱い)

次	時	学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
第一次	1	<p>いちばん心に残ったところをおうちの人 に紹介するための、学習計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のお薦めの物語の紹介を聞き、「いちばん心に残ったところを、おうちの人に紹介しよう」という課題をもつ。 学習計画を立てる。 	
	2	<p>『ずっと、ずっと、大好きだよ』</p> <p>『ずっと、ずっと、大好きだよ』を読 んで、お気に入りのところを探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ずっと、ずっと、大好きだよ』を読み、お気に入りのところにサイドラインを引く。 全文シートに付箋を貼りお気に入りのところを全体で確認する。 「誰が、どうして、どうなったか」など、お話の大体の内容を交流する。 	
第二次	3	<p>「並行読書材」</p> <p>「人と動物シリーズ」を読んで、お気に入 りのところを探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人と動物の絆が描かれている物語」を読み、お気に入りのところに付箋を貼る。 「誰が、どうして、どうなったか」など、お話の大体の内容を交流する。 	<p>【知識・技能】 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(きゅんきゅんポシェット)</p>
	4	<p>『ずっと、ずっと、大好きだよ』</p> <p>いちばん心に残ったところをはっきりさせ、「きゅんきゅんポシェット」に書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル動画から、交流の見通しをもつ。 全文シートの付箋を手掛かりに、相手を選んでお気に入りのところを交流する。 相手を変えて何度も交流を繰り返し、いちばん心に残ったところを捉える。 交流したことを基に、いちばん心に残ったところを「きゅんきゅんポシェット」に書く。 	<p>【思考・判断・表現】 物語を読んでいちばん心に残ったところを紹介するために、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(交流・きゅんきゅんポシェット)</p>

	<p>「並行読書材」</p> <p>いちばん心に残ったところをはっきりさせ、「きゅんきゅんポシェット」に書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・並行読書マトリックス表を手掛かりに、相手を選んでお気に入りのところを交流する。 ・相手を変えて何度も交流を繰り返し、いちばん心に残ったところを捉える。 ・交流したことを基に、いちばん心に残ったところを「きゅんきゅんポシェット」に書く。 	<p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>物語を読んで、いちばん心に残ったところを紹介するために、進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、感想を伝えようとしている。(交流・きゅんきゅんポシェット)</p>
5	<p>『ずっと、ずっと、大好きだよ』</p> <p>いちばん心に残ったところとそのわけを交流し、「きゅんきゅんポシェット」に書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・いちばん心に残ったところとその訳を、「自分だったらどうするか」という自分の体験を交えて交流する。 ・交流したことを基に、いちばん心に残ったところの訳を、自分の体験と結び付けて、「きゅんきゅんポシェット」に書く。 	
6 (本時 一年二 組)	<p>「並行読書材」</p> <p>いちばん心に残ったところとそのわけを交流し、「きゅんきゅんポシェット」に書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画から、交流の見通しをもつ。 ・いちばん心に残ったところとその訳を、「自分だったらどうするか」という自分の体験を交えて交流する。 ・交流したことを基に、いちばん心に残ったところの訳を、自分の体験と結び付けて、「きゅんきゅんポシェット」に書く。 	
7 (本時 一年一 組)		
事後	<p>「並行読書材」</p> <p>いちばん心に残ったところをおうちの人 に紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した「きゅんきゅんポシェット」をおうちの人紹介する。 	<p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>物語を読んで、いちばん心に残ったところを紹介するために、進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、感想を伝えようとしている。(紹介・きゅんきゅんポシェット)</p>

8 本時（全7時間中の第6時間目） 1年2組 光松 真央

（1）本時の目標

いちばん心に残ったところとその訳を自分の体験と結び付けて交流し、「きゅんきゅんポシェット」に書くことができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (5分)	1 単元のゴールを確認する。	・単元のゴールを明確にするために、言語活動モデルと学習計画表を確認する。	
	2 前時の学習を振り返る。	・並行読書材で、いちばん心に残ったところをはっきりさせるために、交流してきたことを振り返る。	
	3 本時のめあてを確認する。	・モデル動画を見て、交流の見通しをもつ。	

『ずっと、ずっと、大好きだよ』

いちばんここにのこったところとそのわけをこうりゅうし、「きゅんきゅんポシェット」にかこう。

展開 (37分)	4 いちばん心に残ったところとその訳を「きゅんきゅんポシェット」にまとめるために交流し、自分の考えをはっきりさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全文シートを活用して、同じところに付箋を貼っている友達や別のところに付箋を貼っている友達等、意図的に相手を選んで交流させる。 ・『ずっと、ずっと、大好きだよ』の叙述や挿絵に着目させ、「自分だったらどうするか」「自分も同じようなことがあった」など、自分の体験と結び付けて交流させる。 ・交流が停滞しているペアには、教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、「自分だったらどうする？」などと質問をして、交流を促していく。 	<p>【思考・判断・表現】 物語を読んでいちばん心に残ったところを紹介するため、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（交流・きゅんきゅんポシェット）</p> <p>【A基準】 自分の体験と結び付けて「自分だったらどうするか」について交流し、感想をもっている。</p> <p>【B基準】 「自分だったらどうするか」について交流し、感想をもっている。</p> <p>【B基準に達しない児童への手立て】 教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、「自分だったらどうする？」などと問いかげ、児童の体験と結び付けて一緒に考える。</p>
	5 交流したことを基に、いちばん心に残ったところの訳を「きゅんきゅんポシェット」に書く。	・充分に交流を繰り返し、自分の考えがはっきりした児童から、自席に戻り「きゅんきゅんポシェット」に交流したことを書く。	
まとめ (3分)	6 本時の学習を振り返る。	・本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	

8 本時（全7時間中の第7時間目） 1年1組 園田 祐恵

（1）本時の目標

いちばん心に残ったところとその訳を自分の体験と結び付けて交流し、「きゅんきゅんポシェット」に書くことができる。

（2）本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 (5分)	1 単元のゴールを確認する。	・単元のゴールを明確にするために、言語活動モデルと学習計画表を確認する。	
	2 前時の学習を振り返る。	・「ずっと、ずっと、大好きだよ」のいちばん心に残ったところを、交流してきたことを振り返る。	
	3 本時のめあてを確認する。	・モデル動画を見て、交流の見通しをもつ。	

『ひとつどうぶつ』シリーズ

いちばんこころにのこったところとそのわけをこうりゅうし、「きゅんきゅんポシェット」にかこう。

展開 (37分)	4 いちばん心に残ったところとその訳を「きゅんきゅんポシェット」にまとめるために交流し、自分の考えをはっきりさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 並行読書マトリックス表を活用して、同じ本を選んだ友達やお薦めしたい本の友達等、意図的に相手を選んで交流させる。 紹介したい本の叙述や挿絵に着目させ、「自分だったらどうするか」「自分も同じようなことがあった」など、自分の体験と結び付けて交流させる。 交流が停滞しているペアには、教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、「自分だったらどうする？」などと質問をして、交流を促していく。 	<p>【思考・判断・表現】 物語を読んでいちばん心に残ったところを紹介するため、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（交流・きゅんきゅんポシェット）</p> <p>【A基準】 自分の体験と結び付けて「自分だったらどうするか」について交流し、感想をもっている。</p> <p>【B基準】 「自分だったらどうするか」について交流し、感想をもっている。</p> <p>【B基準に達しない児童への手立て】 教師が3人目のメンバーとして交流に加わり、「自分だったらどうする？」などと問い合わせ、児童の体験と結び付けて一緒に考える。</p>
	5 交流したことを基に、いちばん心に残ったところの訳を「きゅんきゅんポシェット」に書く。	<ul style="list-style-type: none"> 充分に交流を繰り返し、自分の考えがはっきりした児童から、自席に戻り「きゅんきゅんポシェット」に交流したことを書く。 	
まとめ (3分)	6 本時の学習を振り返る。	・本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	